



Case 1 「Uターン」 ～大切な場所を受け継いでゆく～

S・Kさん

前住所：埼玉県三郷市

現住所：伊佐市菱刈花北

経営していた会社を息子さんに引継ぎ、伊佐市へUターン。両親が暮らしていた実家をリフォームし、移住された。都会で暮らす家族の反対もあった中、故郷へ戻る決意をされたS・Kさん。その裏にどんな想いがあったのか、話を伺った。



定住者の体験談
Case 1

〉 帰ってきたきっかけは？

S：亡くなった母の日記でした。母は広島からこちらに嫁いで、大変な思いをしてここまで築き上げ、私たちを育ててくれました。その日記にこれまでのいろんな事が書いてあって…このままこの家が朽ちるのを待つのはかわいそうだと思います、移住を決めました。

〉 移住してよかったことは？

S：鹿児島市で建設業をしている兄がよく帰ってきたり、両親にお世話になったという人がよく訪ねてきます。お盆には親戚も泊まったりして、みんなは私が帰ってきてくれてよかったと喜んでくれています。それが何よりも嬉しいです。今ではこちらの方が住みやすくなって、都会にはあまり帰りたくないですね（笑）

〉 移住への思い

S：移住には決心がいきます。でも私は、後で悔いが残るようなことはしたくないという思いが一番ありました。両親が元気なうちに帰ってきて親孝行することはできませんでしたが、今回で少しでも親孝行できたのではないかと考えています。



築110年の古民家の梁をそのまま残してリフォームし、お母さまの着物はのれんなどにリメイク。

新しくもあちらこちらに思い出が溢れる、あたたかな家になりました。

移住・定住の最初の一步

誰でも最初の一步は勇気がいるもの。伊佐市が行っている支援事業と実際に移住された方々の体験談をご紹介します。

● 空き家・空き店舗バンク事業

伊佐市では、空き家等の減少を図るために「空き家・空き店舗バンク」による情報発信を行っており、移住者や子育て世帯などによる空き家等の利活用を推進しています。

8月末時点で、大切にされてきた家や店舗29件の情報が公表され、うち9件で新たな生活が始まろうとしています。「家財道具が…」「古い家だけど…」人の出会いと同じく、捉え方は十人十色。まずは、ご相談ください。



伊佐市 空き家バンク 検索



Case2 「1ターン」 ～憧れから現実に～



ジューン・ヤンライスさん
 前住所：アメリカ ニューヨーク市
 現住所：伊佐市大口里
 職業：英語教室 専任講師（L & C）

大学卒業後、移住。ジューンが選んだ地は日本の伊佐。彼女を良く知る人は、「日本の文化や精神を大事にするととても良い子」と目を細める。移住して間もない彼女が飾らずに話してくれた。

〉アメリカから伊佐に来たきっかけは？

ジ：もともと日本のアニメや漫画が好きで、大学でも日本語を勉強していました。言葉を学ぶうちにもっと勉強したくなり、日本に行きたいと思っていました。大学の先生が今働いている英語教室の先生と知り合いで、伊佐で英語を教える人を募集していると聞いて移住しました。

〉移住後の変化は？

ジ：家族・友人とはアメリカにいる時と変わらず携帯で連絡を取り合っていますが、時差を考えなければならぬのが大変です。でも、伊佐に来てから和太鼓衆「鼓動塾」に入って和太鼓を習ったり、ダンスのワークショップイベントなどにも参加して、趣味を楽しんでいます。

〉これから頑張りたいことは？

ジ：英語を教えることは、たくさんしてもまだ慣れません。これからも、いっぱい勉強しないといけないと思っています。

〉移住を考えている人へ一言。

ジ：伊佐は少し田舎ですが、とてもいいところです。ダンスやピザ作りなど、他にもいろんな面白い活動を楽しむことができますよ。



「移住者、若者世帯、子育て世帯」による住宅の新築や、住み替えのための空き家の増改築にかかる費用の一部を補助する制度をご用意しています。

● 移住・住み替え促進事業

工事種別	新築工事	増改築工事
対象者	市内に住所を有する世帯主（移住者含）	
	—	社員寮として空き家を活用する法人の代表者
対象工事	市内建築業者と契約する100万円を超える工事	
	移住者、子育て世帯、若者世帯が行う工事	空き家を居住用に整備するための工事
補助金額	（基本額）補助対象経費の5分の1（上限50万円） （加算額）※補助対象経費が250万円を超える場合 ・移住者加算 20万円 ・子育て世帯加算 5万円 ・若者世帯加算 5万円 ・小規模集落加算 5万円 （※対象物件が大口小学校区外）	

■ことばの説明

【移住者】

市外に継続して10年以上居住し、かつ、申請日前3年以内に市内に転入した人または申請日の属する年度の末日までに転入し居住する人

【子育て世帯】

生計を一にする満15歳以下（申請日の属する年度の末日時点）の人と同居する世帯

【若者世帯】

ともに満40歳以下（申請日の属する年度の末日時点）である夫婦が同居する世帯



Case 3 「子育て世帯」 ～お友だちができて良かった～

松本健太郎さん・知美さん

前住所：霧島市

現住所：伊佐市大口上町

職業：保険業（株式会社いさ保険企画）

期待と不安が入り混じる田舎への移住。家族の絆と心の豊かさが、生活の舵をいい方向に。喧騒にまみれない子育てをしているように見える松本夫妻に伺った。



〉 移住のきっかけは？

健：伊佐の企業に就職することが決まり、当初は霧島市から通勤していましたが、通勤に片道1時間以上かかるため、息子が小学校にあがる前に伊佐に移住することを決意しました。

〉 移住にあたり感じたことは？

知：当初は移住に際し、マイナスのことしか考えていませんでした。買い物は車があればできるけど、学校や病院、特に小児科など、子どものことを考えると心配でした。でも実際に移住してみると、子どもを取り巻く環境が良くなったことに驚きました。スーパーで地域の人に声をかけてもらえたり、団地に住む子どもからおばあちゃんまで息子たちが友達になっていた。一緒に登下校をする友達もできたようで、人間関係の面で移住して良かったことが多かったです。

〉 これから伊佐でしてみたいことは？

健・知：ここに永住するつもりで来たので、マイホームがほしいですね。古民家も好きなので、空き家バンクも気になっているところです。

〉 移住を検討されている子育て世帯へ一言。

健：子育てに関し、伊佐は子どもを見る「大人の目」があります。都会では、大人が子どもに声をかけないし、かけられない。ですが、伊佐は田舎ならではの、地域の人が子育てに関わっていただける風習があります。息子が、下の階に住むおばあちゃんを「僕のお友だち」って紹介してくれたときは驚きました。都会ではできない子育てがここではできますよ。



由 移住・定住の最初の一步

市の支援事業と定住者の体験談をご紹介します

● 移住体験住宅

移住計画者が気軽に訪れ、実際に数日間の生活体験を通じて移住イメージの高揚を図り、伊佐の自然や人情に触れもらうための住宅です。田中重留地区、湯之尾川北地区に各2棟整備しており、体験料1泊2,000円として、最長1か月までの利用が可能です。平成29年度は、78家族100人が利用され、実際に6家族9人が移住し、新たな生活をスタートさせています。市外にお住まいで、移住を計画している人がいましたら、ぜひご紹介ください。



4号棟室内



Case4 「起業」
～次の世代に残すもの～



遠矢寿子さん
前住所：東京都世田谷区（Uターン）
現住所：伊佐市菱刈田中
職業：飲食店経営（農村カフェ）

「田中小前 農村カフェです。〇〇さまお世話になります。」電話をかけると店主の遠矢さんが丁寧に対応してくれる。体に優しくしたいとき、遠矢さんの作る料理が食べたくなる。どんな想い、タイミングでお店を始めたのかその一端に触れてみた。

〉 お店を始めたきっかけは？

遠：もともとは、東京で仕事をしていましたが、母の看取りがきっかけで食事の栄養面や誰かと一緒に食事をする事の大切さに気づき、「食の支え」を意識し、自然食に関心を持つようになりました。日々が過ぎる中で、伊佐にUターンすることになり、何をして暮らすか、何があったらいいかを考えていると、「安心してご飯が食べられるお店」、「歩いてコーヒーを飲みに行けるお店」があるといいなあと思い、農村カフェを経営することを決心しました。

〉 田中小前、車通りが決して多くはないこの場所を選んだ理由は？

遠：幼少のころ、通学路沿いにはたくさんのお店がありましたが、酒店や洋品店、スーパーや農協までも閉店していることを知りました。閉まったシャッターが発するメッセージは「ここには見込みがない」ということ。そんな状況を知っていたので、今の子どもたちに、お店が開く様子を、シャッターが上がる様子を、近くで見てもらいたかったんです。

〉 これからも大切にしたいことは？

遠：子どもたちにとって通学路に「小さなお店」があることが大切で、伊佐を離れたときに、「自分の地元こういう店があつてね。」と言ってもらいたいです。地方に良い意味でありふれている資源（田、畑、森）を次の世代に残すために、食やさまざまなことを通じて考えていきたいと思っています。

「体に優しい」にこだわった週替わりメニューは、栄養バランスに長け、それでいて美味しい。料理に対して、伊佐に対して想いがこもった食事が提供される農村カフェ。移住して3か月以内のお客さまはランチ（通常800円）が1コインに！



＼伊佐の暮らしを体験してみませんか！／



菱刈重留地区 4号棟



菱刈重留地区 3号棟



菱刈川北地区 2号棟



菱刈川北地区 1号棟

申込・問い合わせ先 企画政策課政策調整係 ☎231311